

GCAサヴィアン株式会社

2015年12月期 第1四半期(1月－3月)決算説明資料

2015年4月24日

**GCA
SAVVIAN**

(東証1部：コード2174)

2015年第1四半期の業績

2015年第1四半期の総括



売上高は1,704百万円(前期比約20%減)、営業利益は16百万円(前期比約90%減)。いくつかの案件が4月にずれこんだ(従い、第2四半期の売上は高水準)。



アドバイザリー事業は、日米共に前年同期比より高い水準の受注残を維持しており、プロフェッショナルはフル稼働で人材採用が課題。



積極的に採用活動を継続する。日米でマネージングディレクターをそれぞれ4人ずつ増加させることを目標とする。



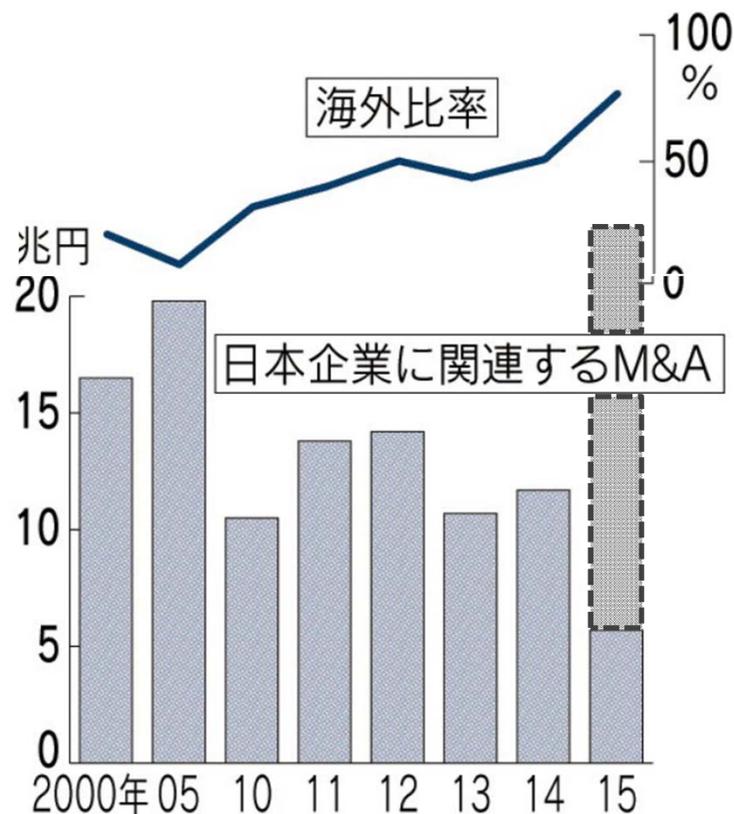
日本においてコーポレートガバナンスコードが導入され、米国のように利益相反のない独立系M&Aアドバイザリー会社の活躍の機会が増加する。日本で上場している唯一の独立専門の当社にとって追い風となる。



資本政策として、配当と自社株買いで100%株主還元を継続する。
最低配当金は一株あたり年10円から20円へ増配。自社株買いを実施しなければ最大で一株利益の100%まで増配させる。

日本企業による海外案件比率は大幅に増加

- ✓ 日本企業によるM&Aの海外案件比率は2000年の20%から50%超へ増加。
- ✓ 脱デフレに期待するも成長の源泉は国外市場に求めざるをえない。
- ✓ 機関投資家が企業へ「設備投資やM&Aに資金を投じること」を注文。



2015年第1四半期の業績(ドメイン別売上)

- ✓ 4月1日に完了した案件の売上が7.8億円となっている。
- ✓ これを含めると売上高は2,484百万円(13%増)、営業利益796百万円(345%増)である。

(単位:百万円)

	実績 ⁽¹⁾				前期比	増減率
	2015 1Q	率	2014 1Q	率		
売上高						
アドバイザリー-日本	1,014		1,258		(244)	(19.4)%
アドバイザリー-米国	563		808		(245)	(30.3)%
アドバイザリー計	1,577		2,066		(489)	(23.7)%
アセットマネジメント	127		123		4	3.3%
売上高合計	1,704		2,190		(486)	(22.2)%
投資控除前 営業利益	71	4.2%	208	9.5%	(137)	(65.9)%
成長のための投資	55		29			
営業利益	16	0.9%	179	8.2%	(163)	(91.1)%
純利益	22	1.3%	88	4.0%	(66)	(75.0)%

「成長のための投資」には、シニアメンバーの採用費用、初年度のシニアメンバーの人件費等が含まれております。



4/1に完了した案件を含めた実質売上高・営業利益 (Pro Forma)

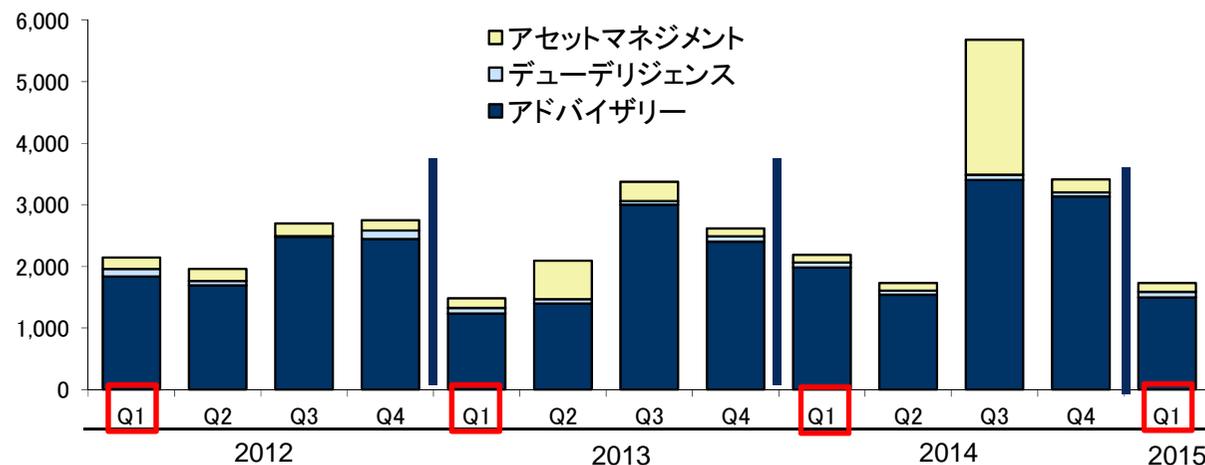
	実績 ⁽¹⁾				前期比	増減率
	2015 1Q	率	2014 1Q	率		
売上高						
アドバイザリー-日本	1,469		1,258		211	16.8%
アドバイザリー-米国	888		808		80	9.9%
アドバイザリー計	2,357		2,066		291	14.1%
アセットマネジメント	127		123		4	3.3%
売上高合計	2,484		2,190		294	13.4%
営業利益	796	32.0%	179	8.2%	617	344.7%

売上・営業利益の四半期推移

✓ 過去の第1四半期と同様にスロースタート。現在の受注残は2Q以降に計上予定。

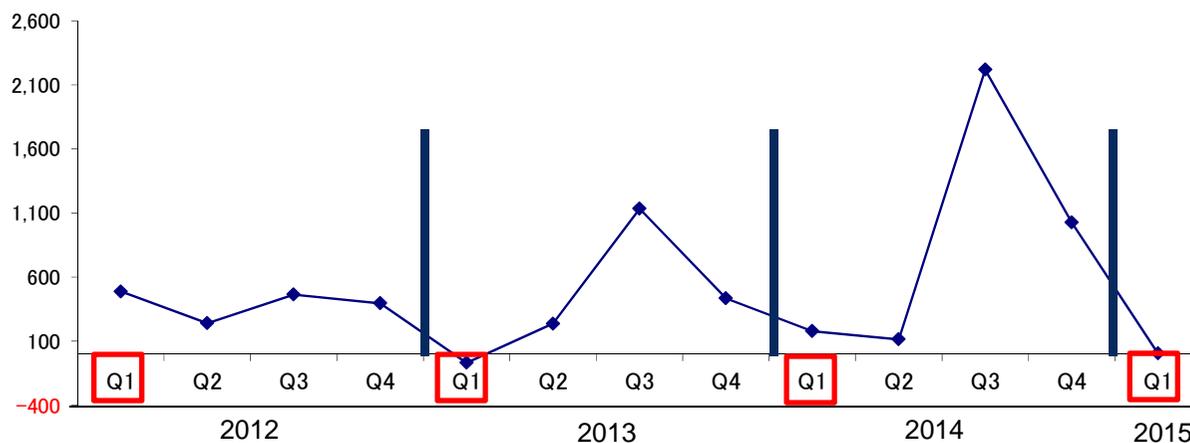
売上 四半期推移 (ファンド非連結ベース)

(単位: 百万円)



営業利益 四半期推移 (ファンド非連結ベース)

(単位: 百万円)



GCAサヴィアのランキング

2015年1Qの日本関連リーグテーブルにて取引金額ベースで第5位

2015年 日本企業のM&Aにかかわった ファイナンシャルアドバイザー(完了案件数ベース)			
アドバイザー		取引金額 US\$ mil.	案件数
1	ゴールドマンサックス	13,331	5
2	モルガンスタンレー	6,919	8
3	シティ	4,546	3
4	アーンスト・ヤング	4,399	5
5	GCAサヴィア	4,075	4
6	エヴァコアパートナーズ	4,069	1
7	ICICI銀行	4,069	1
8	センタービューパートナーズ	3,155	1
9	三井住友FG	2,974	42
10	メリルリンチ	2,291	2

バランスシート

- ✓ 自己資本比率は**88%**と高水準を維持
- ✓ シンプルで健全なバランスシート

(単位:百万円)

科目	2015/3 ⁽¹⁾	2014/12 ⁽²⁾
現預金等	6,145	9,412
売掛金	1,011	918
営業投資有価証券	246	598
その他	601	516
流動資産	8,005	11,443
有形固定資産	190	199
投資有価証券	319	319
その他	1,030	1,227
固定資産	1,538	1,744
資産合計	9,545	13,188
未払法人税	95	879
その他	1,032	3,597
負債合計	1,127	4,476
株主資本	7,402	7,819
自己株式	0	(241)
為替換算評価額等	1,015	1,135
純資産合計	8,417	8,712
負債・純資産合計	9,545	13,188

自己資本比率→

88%

2015年1Qの代表的な案件

日米それぞれの主な国内案件



NTTコミュニケーションズ
によるシーイーシーが
運営する川崎データセン
ター事業の買収
(NTTコミュニケーションズ社
へのアドバイザー)
2015年3月クローズ



Global Debt Registry への
7百万ドルの資金調達に
関するアドバイス
(Global Debt Registry
へのアドバイザー)
2015年3月クローズ

クロスボーダー案件



ダイキン工業による
Solvay S.A.の欧州冷媒
事業の買収
(ダイキン工業への
アドバイザー)
2015年2月公表



不二製油によるHarald
Indústria e Comércio de
Alimentos Ltda.の買収
(不二製油へのアドバイザー)
2015年3月公表

コーポレートガバナンスコード導入の影響

- ✓ アベノミクス改革のひとつである株式市場の活性化の対応策としてコーポレートガバナンスの強化が必至
- ✓ 2014年には日本版ステューワードシップコードが導入され、2015年には東証・金融庁の主導でコーポレートガバナンスコードが導入される
- ✓ 同コードでは独立社外取締役を2名以上設置するよう推奨されている



M&Aの推進、M&Aアドバイザーの選定プロセスの透明化
(利益相反のある金融機関アドバイザーは回避される)

独立系である GCA Savvian の重要性が増加

配当の基本方針の修正

- ✓ 配当予想は年間最低**10円→20円へ増額**
業績により一株利益の100%まで増配する可能性がある
- ✓ 純利益の100%還元は継続(配当と自己株買いの組み合わせ)

高株主還元率
高ROE

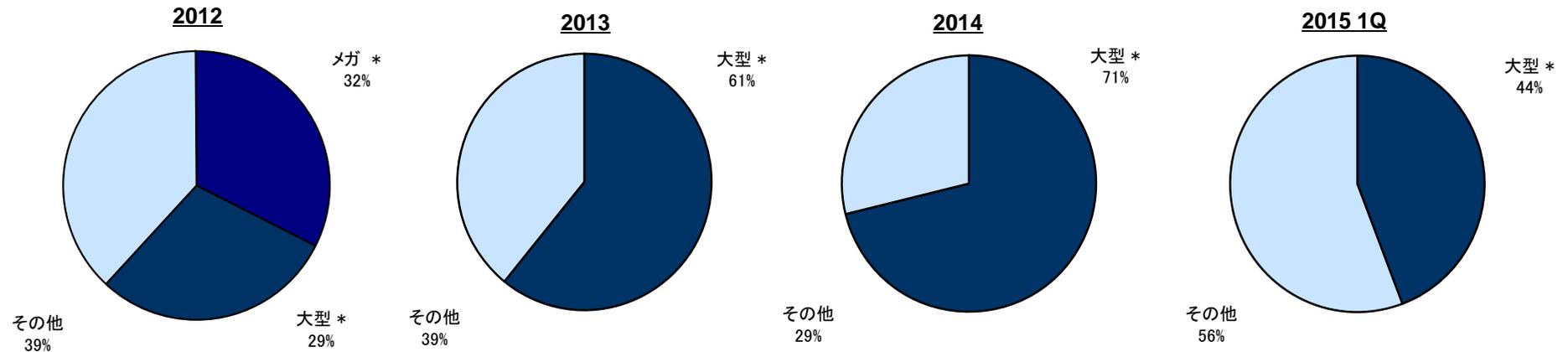
年間最低配当金は**10円から20円/株へ増配**
(中間配当は6月末基準で**5円から10円/株へ増配**)

当社の成長のための投資は人財であり、投資した年の期間費用となる。「成長投資後」の純利益は全て株主還元が可能。

Appendix

M&Aアドバイザー事業の補足データ

大型案件比率（金額ベース）



プロフェッショナルの推移

四半期別平均	FY2014				FY2015				FY2015 期末
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
アドバイザー日本	78	81	84	84	88				88
アドバイザー米国	60	65	65	66	67				66
アドバイザー欧州	1	1	1	1	1				1
デューデリジェンス	29	28	23	20	20				20
アセットマネジメント	9	8	8	8	8				9
	177	183	181	179	184				184

(単位:人)

“ Trusted Advisor For Client’s Best Interest ”

当社はグローバルな「上場M&Aソリューショングループ」＝「社会の公器」として価値創出型のM&Aソリューションを提供することにより、クライアントの成長と世界経済の発展に貢献してまいります。

The logo for GCA SAVVIAN features the letters 'GCA' in a large, blue, serif font above the letters 'SAVVIAN' in a smaller, blue, serif font. The text is centered between two vertical blue bars of varying heights, with a small 'TM' trademark symbol at the top right of the right bar.

本資料は、GCAサヴィアン株式会社の事業及び業界動向についてのGCAサヴィアン株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。GCAサヴィアン株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づいて、GCAサヴィアン株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載を更新し変更するものではありません。また、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。